

Rotary International District 2820

下館ロータリークラブ会報

SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2022-23

第 02621 号 発行日 令和 5 年 1 月 25 日



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



イマジン
ロータリー

ジェニファー・ジョーンズ R I 会長

本日のプログラム

職業奉仕月間に因んで

職業奉仕総括委員長 鈴木富士雄 様
(つくば学園 RC)

次週のプログラム

短縮例会

白田ガバナー補佐・大塚セクレタリー訪問

会長／潮田武彦 副会長／早瀬浩一 幹事／神山芳子 会長エレクト／宮田憲一

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール (〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)

ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第3004回 2023/1/18日(水)

会長挨拶

潮田武彦 会長



先週の土曜日に、地区財団総括委員長の新井直前ガバナーが中心となり、国際ロータリー第2820地区、PHS（ポールハリスソサイエティ）顕彰パーティーが開催されました。当地区での初の開催になります。PHSメンバーの他、各クラブ会長も参加されました。

2022年7月1日～12月までで新入会者が39名となり、2022年12月末日で110名を越え入会率が日本一になったとのご報告をいただきました。

PHSとはポール・ハリス・ソサイエティのことです。毎年1,000 \$以上を年次基金（年次寄付）、ポリオ・プラス、財団が承認した補助金に個人として寄付するロータリアンやロータリー財団の支援者を認証するプログラムです。

永井靖彦パストガバナーから、PHS代表挨拶として、PHSと財団の歴史のお話を頂きました。PHSの歴史は1999年、第5340地区サンディエゴで地区運営の認証プログラムとして始まりましたが、ロータリー財団管理委員会は2013年7月1日からロータリー財団の公式認証プログラムとして採択しました。PHSの寄付金は、年次基金に対する年間寄付額の35%を占め、財団にとって貴重な資金リソースとなっているとのことです。

ロータリー財団の創始者はアーチ・フランクさんで、1917年、アトランタ国際大会で、「世界中で善いことをする目的のために基金を設置することは極めて妥当なように思われます」と述べ、この提案が「ロータリー基金」という名前

でスタート、1928年のミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」として認証されました。よって彼は、「ロータリー財団の父」とたたえられています。1930年代には、世界大恐慌のさなか、財団は、最初の補助金として、身体障害児童保護国際協会に500ドルを授与しました。

この身体障害児童保護国際協会は、ロータリアンであったエドガー F. "ダディー" アレンの創立したもので、現在の全米イースター・シール協会に発展しました。ダディー・アレンは、その当時、身障児救援という社会奉仕活動をロータリーに持ち込み大きな波紋を広げロータリー分裂の危機を迎える原因となったらしく、分裂の危機の中、財団が500ドルを寄付したことにより、ロータリーの分裂の危機を脱することができたというお話でした。その後、障害者のリハビリテーションを援助しようというダディー・アレンの使命感は、多くのロータリアンの心をとらえたそうで、今日に至るとのことです。

今年の皆さんからの寄付金は3年後に返ってくるので、地区にとってますます活動が活発となることと思います。

本日は、水戸証券の松浦会員による2023年日米株式相場展望の卓話を頂きます。アメリカでは、有名企業で、人員の削減が始まったとの報告がニュースで取り上げられたり、今後、どのようになるか？非常に気になる所です。

どうぞよろしくお願いします。

幹事報告

神山芳子 幹事



- 大野ガバナー事務所より
- ・後期R I人頭分担金支払依頼
- 白田ガバナー補佐より



・IM開催のお知らせ 2月25日(土)

真壁伝承館 登録 9:00

開会 9:45

閉会 14:30頃

○下半期会費納入のお知らせを配布

○筑西市国際友好協会より

・異文化交流会の案内 受理

日時: 2月12日(日) 10:30～12:00

(受付は10:00～)

会場: アルテリオ 集会室

内容: ワールドキャラバン

講師: トム・ギブ氏(イギリス出身)

歴史・文化等の紹介

会 員 卓 話

松 浦 真 也 会 員



2023年前半の 日米株式相場展望

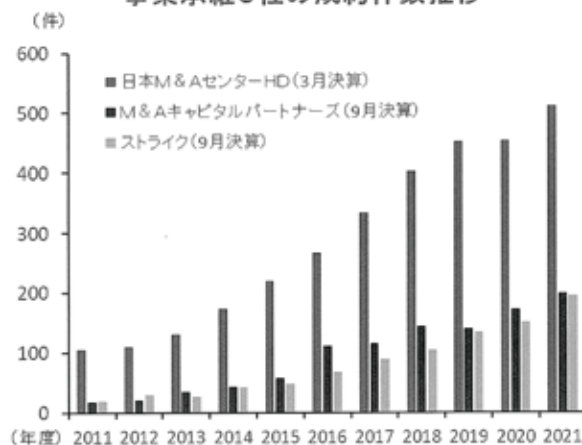
2022年の相場を振り返る

2022年は2月下旬にロシアがウクライナに侵攻後、原油を始めとした資源価格が上昇。また経済活動の再開に伴う需要増も重なりインフレが急ピッチで進んだことを受けて、欧米中銀が金融引き締め姿勢に転換し、その後も利上げペースを加速させていきました。金利上昇が株式の相対的な割高感を意識させる形となり、成長期待の高いハイテク株の下落が特に目立った一方で、円安や金融緩和が追い風となった日本株は底堅く推移しました。足下では資源価格が落ち着きを見せつつありますが、中銀による金融引き締め姿勢や世界的な景気減速に対する懸念が根強く、インフレや景気動向、起業業績に神経質な環境が続いています。

好調が期待される中小M&A関連

2018年に年間5,000件弱であったM&A成約件数を、中小企業庁は2029年頃に6万件に高めたい目標を掲げており、その状況から推測しますと、中小M&Aマーケットのポテンシャルは非常に大きいと思われます。好環境も手伝い、事業承継M&A関連3社は成約件数を順調に伸ばしており、同業を含め今後も好調が期待できると思われます。

事業承継3社の成約件数推移

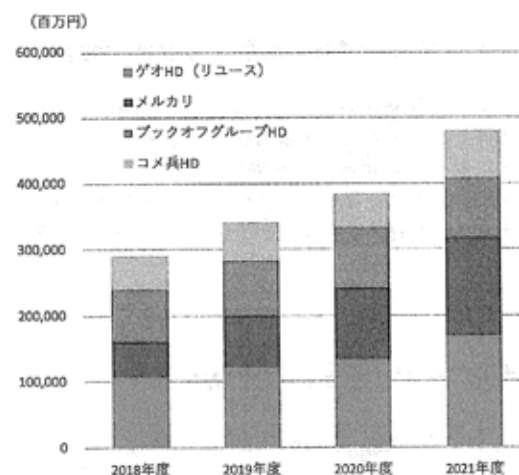


追い風が吹くリユース業界

2021年のリユース市場規模は2兆6,988億円(前年比+12%)、と拡大傾向にあります。

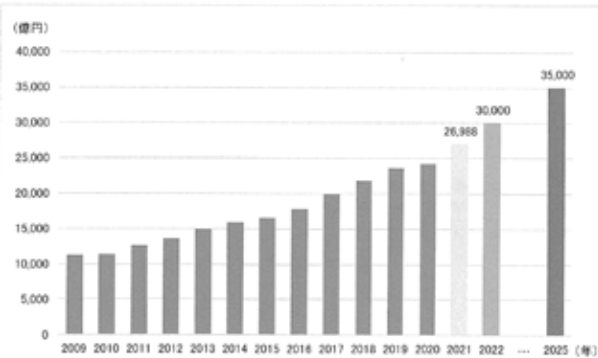
フリマアプリの台頭により、リユースがより身近になったことでリユース品への抵抗感が薄れ、市場全体の取引が活発になっているという声も聞かれます。足下では消費者の生活防衛意識の高まりや、サステナブル意識の高まりが追い風となり、各社の業績は好調に推移しています。

<図表2>リユース各社の売上高推移





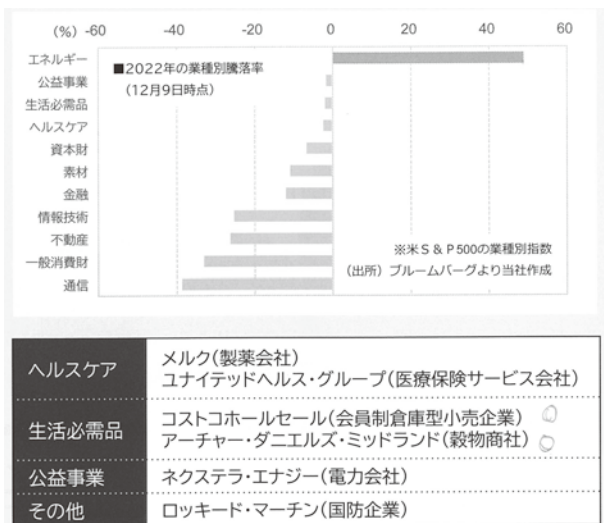
【リユース市場の規模】



米国株のディフェンシブ戦略

独自の需要をつかむ優良ディフェンシブ銘柄に注目

2022年相場は逆金融相場の色合いが強まり、今後は景気や企業業績の悪化が警戒されます。一方、国策の恩恵を受ける産業や人々の日常生活に欠かせないサービスを提供する企業は業績面でディフェンシブ性を発揮するとみられ、投資資金の受け皿になりそうです。



出席報告

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
22	11	6	1	4



スマイルBOX 鈴木 健一 副委員長

- ▶潮田 武彦さん 水戸証券 松浦会員の卓楽しみに来ました。世界の動向が気になるところです。本日は宜しくお祈いします。
- ▶永井 啓一さん 松浦支店長、卓話楽しみにしておりました。宜しくお祈いします。
- ▶小林 一彦さん 松浦真也会員の卓話、楽しみにしてあります。宜しくお祈い致します。
- ▶鈴木 隆朗さん 水戸証券 松浦支店長の卓話、楽しみにしてきました。「日米相場展望」とも興味深いテーマです。宜しくお祈いします。
- ▶松浦 真也さん 本日は、皆様宜しくお祈い致します。
- ▶神山 芳子さん 松浦会員の最新情報を楽しみにしてました。
- ▶新井 和雄さん 松浦さん、卓話楽しみにしています。

本日の合計 10,000 円 累計 492,000 円



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理規準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。